

感染性胃腸炎の集団発生について

習志野市内の小学校で、アストロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。

感染性胃腸炎は、通年で発生していますが、今後、特に冬場から春先にかけて多く発生するシーズンを迎えるので、日頃からこまめに手洗いをするよう心掛けましょう。

また、感染拡大を防止するため、便や嘔吐物は適正に処理し、汚れた床や用具などは適切に消毒しましょう。

11月18日（火）

習志野市教育委員会から習志野保健所に対し、市内小学校で複数名の児童や職員が胃腸炎症状を呈している旨の連絡があり、当該小学校に対する現地調査を実施した。

その結果、11月11日（火）から11月18日（火）までにかけて、多数の児童が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、受診した医療機関で胃腸炎等と診断されていたことが判明した。保健所では、児童等の便検査への協力を依頼するとともに、衛生指導を実施した。

11月21日（金）

保健所に提出のあった児童4名、職員1名の便について検査したところ、5名全員の便中からアストロウイルスが検出された。

これまでに発症が確認されているのは児童49名、職員2名で、重症者は発生していない。

これから冬にかけて感染性胃腸炎の患者数が多くなる時期を迎えます。

○施設等における注意事項

- ・ 日頃から従業員の健康管理に注意してください。
- ・ 施設内でふん便や嘔吐物を処理する時は、使い捨てのガウン（エプロン）・ビニール手袋・マスクを着用し、汚れた床や用具などは適正な濃度の塩素系消毒薬で速やかに消毒してください。作業が終わったら、手をよく洗い、窓を開けて、十分に換気をしましょう。
- ・ 詳しい消毒方法や同様の症状を呈する方が複数名発生した場合には、お近くの保健所（健康福祉センター）に御相談ください。

○県民の皆様へ

- ・ 調理の前や食事の前、トイレの後などには手を十分に洗いましょう。

【参考】

アストロウイルスによる感染性胃腸炎について

1 アストロウイルスによる感染性胃腸炎とは

- アストロウイルスは アストロウイルス科の RNA 型ウイルスで、主に乳幼児や高齢者などに胃腸炎を起こす。
- 主に冬期に流行するウイルスで、ノロウイルスに比べて、症状が軽い傾向があることが知られている。
- アルコール系消毒薬の効き目が低いため、石けんと流水での十分な手洗いが有効。

2 感染経路

- 主な感染経路はアストロウイルスが大量に含まれる患者のふん便や嘔吐物から人の手を介して感染する。(糞口感染)
- ウイルスに汚染された水や食品を摂取することで感染する。
- 貝類の生食あるいは十分に加熱しないで食べて感染する。

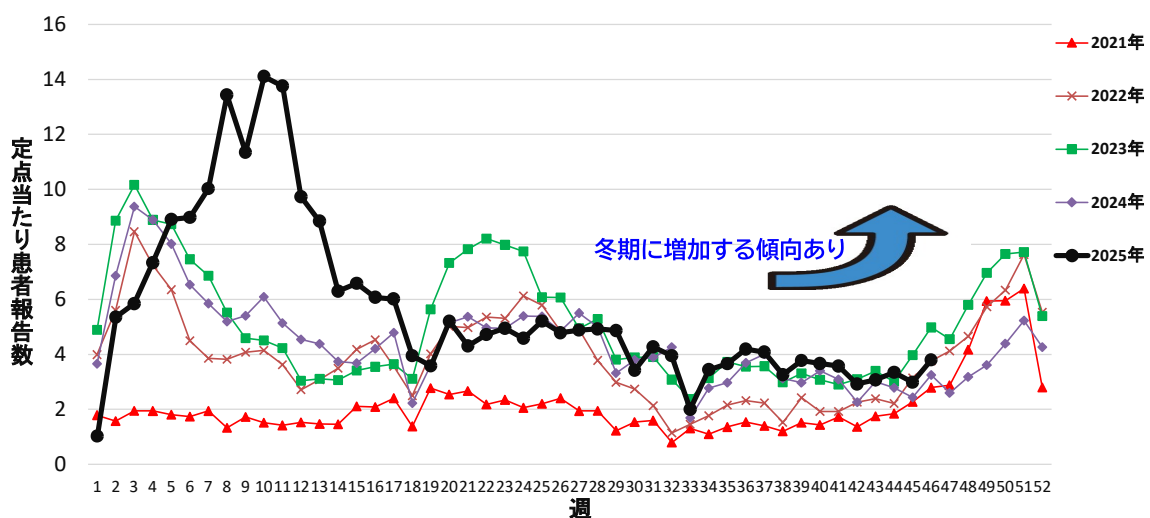
3 症状等

- 潜伏期間 1～4日
- 主症状 下痢、腹痛、嘔吐、発熱 症状は軽く、多くが4～5日以内に軽快。

4 治療

- 特異的な治療法はない。
- 脱水症状がひどい場合に、輸液を行うなどの対症療法が行われる。
- 感染症例によるウイルスの排泄は約2週間便中に排出されるため、二次感染に注意が必要。

◎県内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移 (2021年から2025年第46週*まで)



※2025年第46週：11月10日～11月16日